

人間環境大学大学院

令和7年度
学生募集要項

人間環境学研究所
人間環境専攻(修士課程)

人間環境大学大学院

人間環境学研究科 人間環境専攻（修士課程）

・臨床心理研究指導分野 ・環境科学研究指導分野

教育・研究の理念

人間にとっての「環境」とは、単にその中に存在し活動するといった意味をもつだけでなく、自らが創造し利用するといった意味ももっています。しかし、地球温暖化や家庭崩壊といった現代社会の抱える問題に代表されるように、人間と環境の関係は危機的な状況にあります。そして、このような結果を招いた背後には、人間と環境の関わりを単純な関係に還元して理解してきた近代科学や学問研究のありかたに根本的な問題があると考えられます。さらには、新たな脅威となった感染症蔓延に対しても、私たちは新たな生活様式の構築が求められています。

このような認識に立脚して、人間と環境の関わりを問い直し、学問の根本からの改革を実現していくことが、本研究科の研究・教育の目的となります。そして、今日の教育やモラルの問題が、教養教育、人格教育の欠如にあるという認識のもとに、人類社会に貢献する人格の育成にも積極的に取り組んでいきます。

教育・研究の特色

人間と環境の関わりについて総合的に研究することを目的として、本研究科では、三つのアスペクトから研究・教育をすすめていきます。

第一のアスペクトは、現代社会が陥っている精神の危機的状況を分析し、その危機を克服していくことです。

第二のアスペクトは、科学技術や経済活動の発展と地球環境の保護といった対立する問題の解決に取り組み、豊かな未来を創出するために有効な方法を見出すことです。

そして第三のアスペクトは、人間がこれまでの歴史のなかで形成してきた芸術、文学、思想などの文化環境を振り返って考察することです。

本研究科では、これらの三つのアスペクトに対応して、臨床心理研究指導分野、環境科学研究指導分野、および人間環境専攻共通科目によって、横断的かつ総合的な研究を可能にするカリキュラムが編成されています。学生は、研究指導を受ける教員が担当する演習・実習科目や講義科目を受講するだけでなく、各分野すべての科目を受講することによって、「人間環境学」を修めることになります。

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

人間環境学研究科

人間環境学研究科では、人間環境に関する専門的な知識と技能を修得しつつ、総合的かつ創造的に学問を探求することができ、研究諸課題の発見とその解決に向けて主体的に取り組むことのできる人を求める。

1. 募集研究科、専攻、指導分野及び募集定員

研究科	専攻	指導分野	募集定員
人間環境学研究科	人間環境専攻(修士課程)	臨床心理研究指導分野 環境科学研究指導分野	8名

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者。
- (2) 学校教育法104条第4項の規定により学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者。
- (8) 専修学校の専門課程（修業期限が4年以上であること、及びその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
- (9) 令和7年3月31日までに、上記のいずれかの資格を取得する見込みのある者。
※出身大学（または出身大学院）で専攻した分野と異なる分野であっても、上記の出願資格に該当していれば出願可能です。
※上記（7）により出願を希望する者は、本学が入学資格の認定を行います。入学資格審査を希望する者は、各入試日程の出願開始日までに関係書類の提出が必要となります。詳しくは、入試・広報部まで問い合わせてください。

3. 出願手続

本学ホームページ「入試情報」より出願サイトにアクセスし、ネット出願登録後、入学検定料を支払い必要書類をダウンロードし、出願期間内に簡易書留速達で郵送してください（別冊のネット出願ガイド参照）。なお、出願登録時に顔写真（正面・上半身肩口まで・脱帽・背景無地のもの、出願日前3ヶ月以内に撮影したもの）のアップロードが必要です。「ネット出願ガイド」をよく確認し、あらかじめ写真データを用意しておいてください。

【出願書類】

ネット出願登録をし、入学検定料を支払い後、出願サイトの「マイページ」にアクセスして出願書類(1)と(2)をダウンロードし、A4サイズでカラー印刷してください。

出願書類(3)～(4)は本学ホームページ「入試情報 人間環境学研究科 出願書類」よりダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、志願者本人が黒のボールペンで記入するか、Wordファイルに入力し印刷してください。

- (1) ネット出願志願票
- (2) 宛名ラベル
市販の角2封筒に貼付してください。
- (3) 研究計画書（様式1）
本学所定用紙に1,200字程度で記入のこと（ただし、参考文献・引用文献は1,200字程度の文字数に含まなくてよい）。
- (4) 履歴書（様式2-1、2-2）
- (5) 出身大学の成績証明書（出身大学が出願日よりさかのぼって、3ヶ月以内に作成・捺印したもの）
・編入学等により最終学歴の証明書に認定となっている場合は、編入前の大学の成績証明書も併せて提出してください。
・大学院修士課程を修了された方および修了見込みの方は、修士課程成績証明書も併せて提出してください。
- (6) 出身大学の卒業証明書または卒業見込証明書（出身大学が作成・捺印したもの）
(注)改姓等により、現在の氏名と証明書の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を添付してください。

※個人情報保護について

出願書類等に記入された個人情報は、本学入学試験及び入学手続に係る事項のために使用するものです。本人の同意を得ることなく、上記以外の目的に使用することはありません。

※受験上の配慮

受験時において、障がい・疾病・怪我等による配慮を希望される場合は、出願前に入試・広報部（TEL 0564-48-4321）へご相談いただき、大学の配慮内容について確認していただく必要があります。出願前のご相談がなく受験された場合、ご希望される支援等を準備できない場合がありますのでご注意ください。なお、出願前に配慮についてご相談いただくことで入試結果の判定が不利となることはありません。

入学後の配慮についてのご相談は、学生支援部（TEL 0564-66-6120）までお問い合わせください。

4. 入学検定料 35,000円（別途事務手数料1,500円）

ネット出願登録後、支払い方法を選択し納入してください（別冊のネット出願ガイド参照）。

【入学検定料の返還について】

払込後の入学検定料は、次の①、②の場合を除き、いかなる場合も返還しません。

①入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合または出願が受理されなかった場合

②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

入学検定料の返還請求をする者は、入試・広報部（TEL 0564-48-4321）もしくは代表番号（TEL 0564-48-7811）まで連絡し、本学ホームページからダウンロードした必要書類を、令和7年3月31日（月）必着で送付してください。

〔受付時間〕 月～金 9:00から17:00（祝日除く）

5. 入試日程、試験地等

	出願期間	入試日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
I 期	令和6年9月11日（水） ～9月25日（水） ※締切日消印有効 ※出願締切日に限り本学 岡崎キャンパス窓口持参可 （9：00～17：00）	令和6年 10月12日（土）	本学 （岡崎）	令和6年 10月17日（木）	令和6年 10月31日（木）
II 期	令和7年1月20日（月） ～1月30日（木） ※締切日消印有効 ※出願締切日に限り本学 岡崎キャンパス窓口持参可 （9：00～17：00）	令和7年 2月17日（月）	本学 （岡崎）	令和7年 2月20日（木）	令和7年 2月28日（金）

①入試結果は、出願サイトの「マイページ」で合格発表日の13:00から3日後の17:00まで照会できます。入試結果を印刷する場合は印刷ボタンを押してください。受験者本人に郵送での入試結果通知は行ないません。

②入試結果に関する問い合わせには一切応じられません。

6. 選考方法及び時間

選考方法	二段階選抜を行います。第一次選考に合格した者のみ第二次選考を受験することができます。
第一次選考	・ 専門科目試験 ・ 外国語試験
第二次選考	・ 口述試験

入試スケジュール

9 : 15 入室完了

試験時間	科目	試験内容補足
〈第一次選考〉 9 : 30～11 : 00	専門科目 (150点)	<p>受験科目は入学を希望する研究指導分野の指定する科目の中から願書提出時に届け出てください。その後の変更はできません。 ※辞書の使用は不可</p> <p>○ 臨床心理研究指導分野を希望する場合は、次の科目を受験してください。 ・ 臨床心理学 (臨床心理学を中心とした心理学の各分野に関する学力を問う。)</p> <p>○ 臨床心理研究指導分野研究コースを希望する場合は、次の科目を受験してください。 ・ 心理学</p> <p>○ 環境科学研究指導分野を希望する場合は、次のいずれかの科目を受験してください。 ・ 生態科学 ・ 野生動物学 ・ データサイエンス ・ 会計学 ・ 環境リスク管理学 ・ 開発人類学 ・ 経済学</p>
11 : 30～12 : 30	外国語 (100点)	英語 なお、英語の辞書(複数)を持ち込み、利用することができます。 (ただし、電子辞書や専門分野の辞書は不可)
14 : 30	第一次選考合格発表	指定場所にて、結果の掲示を行います。
〈第二次選考〉 14 : 45～	口述試験	大学院での研究計画などに関して口述試験を行います。

7. 入学手続

合格者は別冊の「ネット出願ガイド」7～8ページをよく確認し、入学手続をしてください。

学生納付金

学費種別	人間環境大学卒業生		その他の大学の卒業生		2年次	
	1年次		1年次			
	入学手続時	9月	入学手続時	9月	4月	9月
入学金	免除	－	200,000円	－	－	－
前期授業料	300,000円	－	300,000円	－	300,000円	－
後期授業料	－	300,000円	－	300,000円	－	300,000円
前期教育充実費	100,000円	－	100,000円	－	100,000円	－
後期教育充実費	－	100,000円	－	100,000円	－	100,000円
上記合計	400,000円	400,000円	600,000円	400,000円	400,000円	400,000円

【学生納付金の返還について】

一旦納入された学生納付金は返還しません。令和7年度大学院入試の合格者で、入学金・前期授業料・前期教育充実費を納入後、令和7年3月31日(月)17:00までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金(入学金が免除されている場合には入学金相当額)を除いた学生納付金を返還します(振込手数料本人負担)。

また、出願資格または入学資格を卒業や取得等の見込みで受験し入学時までには要件を満たせないことが判明した場合も、入学金(入学金が免除されている場合には入学金相当額)を除いた学生納付金を返還します(振込手数料本人負担)。

上記の他に、下記諸費用が必要となります(令和7年度入学生予定)。

・ 学生教育研究災害傷害保険料(2年分)	1,750円
・ 学研災付帯賠償責任保険Aコース保険料(2年分)	680円
・ 健康診断自己負担分	1,100円
・ 学生証作成費	1,460円
・ LMS登録料*	2,000円
・ マイクロソフトライセンス利用料	3,000円
合 計	9,990円

※LMSは学習管理システムの略です。本学では教育効果を高めるために全学的に導入しています。

・ 令和7年度の諸費用については、これまでの実績により算出しています。諸般の事情により変更される場合があります。

・ 上記以外に教科書代及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。

8. 受験に関する注意

受 験 票	<p>受験票は本学で出願を受理した後に、出願サイトの「マイページ」に公表します。志願者が出願書類を郵送してから本学で出願を受理するまで時間を要することがありますので、「マイページ」を定期的に確認してください。受験票はダウンロードし、出願時に入力した内容であるか確認後、拡大縮小せずA4サイズ片面で印刷し、点線に沿って切り取り、試験日に持参してください。受験票が試験日2日前までにダウンロードできない場合には、入試・広報部までお問い合わせください。</p> <p>受験票は、合格発表、入学手続まで大切に保管してください。</p>
遅刻について	<p>試験開始後15分以上遅刻した者は受験できません。ただし、天候の不順による交通機関の遅延や、交通機関における事故などのやむを得ない理由により定刻までに試験場に到着できない場合は、以下まで連絡をして指示を受けてください。</p> <p>連絡先 入試・広報部 (TEL 0564-48-4321) 代表番号 (TEL 0564-48-7811)</p>
試 験 室 へ の 入 室	<p>受付で受験票を提示して入室してください。</p> <p>受験票を忘れた場合は、係員にその旨を申し出てください。</p> <p>受験票のない者及び受験者以外は、原則として入場できません。</p> <p>受験番号により指定された場所に着席し、受験票を机の上に置いてください。</p>
昼 食	<p>昼食は各自用意してください。</p>
交 通 手 段	<p>試験場へは、公共の交通機関を利用してください。詳細は本学ホームページを確認してください。</p>
持 ち も の 筆 記 用 具	<p>①受験票</p> <p>②筆記用具は、HBまたはBの黒鉛筆・シャープペンシル、消しゴム、鉛筆けずり(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)を使用できます。</p> <p>③下敷、定規、計算機・辞書機能つき時計等は使用できません。</p> <p>④監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、耳栓は使用できません。</p> <p>⑤英語の辞書(電子辞書は不可)</p>
そ の 他	<p>試験室では、携帯電話・スマートフォンの電源を切ってください。</p> <p>不明な点、忘れ物などがあれば係員に申し出てください。</p>

